



コラム いつの間にこんな植物が ～ネバリノミノツヅリ～

秋から春の初め、県内各地のアスファルトやコンクリートの隙間や路傍、河川敷の砂利や砂地などでネバリノミノツヅリ (*Arenaria serpyllifolia* var. *viscida*) という植物を見かけるようになりました。20年前には畑などでノミノツヅリ (*Arenaria serpyllifolia* var. *serpyllifolia*) という植物を時折見かけていました。ネバリノミノツヅリはがくや葉・茎をルーペで拡大して見ると、先が球になっている腺毛をたくさんつけています。この毛を太陽にかざしてみると小さな球体の部分がキラキラしていますので、肉眼でもわかります(写真1)。



写真1 ネバリノミノツヅリ (坂戸市)

さて、博物館にあるノミノツヅリの登録標本全32点(1954年～2006年)を確認してみました。残念ながら、ネバリノミノツヅリを発見することはできませんでした。全てノミノツヅリだったのです(写真2)。私が所有している2008年の標本にはネバリノミノツヅリがありました。どうやら、ネバリノミノツヅリは、埼玉には以前はなくて、最近(2000年頃から)入ってきて、広がっているようです。



写真2 ノミノツヅリ (皆野町)

(三上 忠仁/学芸員)

展示のお知らせ (4月～9月)

	タイトル	期間	内容
企画展示	生きものの名前	3月12日(土)～6月19日(日)	当館が扱う資料を中心に名前の付き方や命名のルールなどを紹介します。
企画展示	奥秩父の自然	7月2日(土)～10月16日(日)	奥秩父地域に見られる岩石や、そこに生息する動植物を紹介します。
パネル展示	カメラで撮る標本の世界	3月1日(火)～6月19日(日)	肉眼では伝わらない標本の形や色などを、デジタルカメラで撮影した画像で紹介いたします。
	標本制作の技	6月21日(火)～10月16日(日)	集めた自然物を標本にする際の手法や過程を紹介します。

※開館時間：9：00～16：30 (7・8月は17：00まで) 入館は閉館30分前まで

※休館日：月曜日(祝日、振替休日、GW、7・8月は開館) 燻蒸のため休館：9月5日(月)～9月12日(月) その他、臨時休館あり

※その他イベントについては、リーフレット(展示・イベント案内)またはホームページ(<https://shizen.spec.ed.jp/>)をご覧ください

授業に活かせる自然の博物館活用講座 (表紙解説)

表紙の写真は、10月に実施した「授業に活かせる自然の博物館活用講座」の様子です。近年、学校の教育活動の基準を示す学習指導要領が改訂され、学校は地域の諸機関とより積極的に協力することが求められています。今年度も感染症対策を徹底しながら「出前授業」や、講師を派遣する「体験活動」を実施しました。子どもたちからは充実した様子が見え、ホンモノに携わる経験は人を劇的に成長させることに改めて気づかされました。私は昨年まで中学校の教員でした。当館で勤務するようになり、子どもたちと同様にホンモノの良さを実感しています。この実感を次世代を担う子どもたちの育成につなげ、子どもたちに感動を与えられるような企画をしていこうと思っています。



写真 館内での講義の様子

(横田 淳/企画・広報担当課長)